

松阪市議会議長 中島清晴 様

ChatGPT 講習会 参加報告書

令和 7 年 4 月 11 日

報告者 米倉芳周

日時：令和 7 年 4 月 10 日（木）10:00～11:40

場所：松阪公民館 第 4 講座室

講師：森山 明剛 氏（有限会社メテオプラネット）

参加者（松阪市議会）

- ・市野幸男議員・中村誠議員・松本一孝議員・米倉芳周議員・坂口秀夫議員
- ・山本芳敬議員・田中正浩議員・奥出かよ子議員 計 8 名



このたび、「議員活動に生かす ChatGPT 講習会」に参加いたしました。

本講習会は、急速に進化する AI 技術、とりわけ自然言語処理モデルである ChatGPT をどのように議員活動に応用できるかをテーマとしたもので、参加者が関心を寄せる中で開催されました。

講師を務められた森山明剛氏（有限会社メテオプラネット）は、AI と IT 分野における豊富な知識と経験をもとに、ChatGPT の仕組みから活用方法までをわかりやすくご説明くださいました。講義の前半では、ChatGPT の技術的な基礎や生成 AI の全体像について解説があり、現在この技術がどのように社会に浸透しているか、各国における利用率やユーザー数などの統計も交えながら紹介されました。

具体的な活用事例としては、議員活動における質問作成や議事録の要約、政策提言文の下書きといった実務的な場面はもちろんのこと、ビジネスシーンでの資料作成やメール対応、教育現場での教材開発、さらにはエンターテインメントやコンテンツ制作といった創造的分野にまで及ぶ幅広い可能性が示されました。

また、AI ツールを活用するにあたっての注意点として、「情報の正確性をどう担保するか」「AI が出力する内容にどのようなバイアスや誤りが含まれる可能性があるか」といった倫理的・法的観点にも触れられました。特に、公的な立場にある議員が AI を利用する際には、情報発信の責任と信頼性の確保が重要であるとの指摘があり、大変印象に残りました。

講義の後半では、実際にパソコンを使ったハンズオン形式での演習が行われ、受講者それぞれが ChatGPT に対してプロンプト（指示文）を入力し、生成された回答を確認・検証する作業を通じて、実用的な操作感や応用力を身につける機会となりました。プロンプトの工夫によって出力内容が大きく変化することも体験でき、AI との効果的な対話手法を習得するうえで非常に有意義でした。

今回の講習会を通じて、ChatGPT をはじめとした生成 AI が今後の議会活動や地域政策立案、住民への情報提供において大きな力となり得ることを改めて実感しました。同時に、技術に依存しすぎることなく、常にその背景にある責任と倫理を意識しながら、適切に活用していく必要性も再認識いたしました。

今後は、今回の学びを議員としての活動に活かし、より一層市民に寄り添った、わかりやすく透明性の高い情報発信と政策提案に努めてまいりたいと考えております。

以 上